

# 家庭と学校の両輪で 子どもに生きる力を



家庭は子どもたちにとって、あらゆる教育の原点です。家庭とのふれあいやさまざまな体験を通じて、基本的な生活習慣や社会規範など多くのことを学びます。子どもたちの家庭学習や生活習慣を定着させ、豊かな心を育むため「あやせ学びづくり運動」「あやせゼロの日運動」を展開しています。



## 学びを支援 あやせ学びづくり運動

23年度から「あやせ学びづくり運動」を展開しています。学校と家庭が連携して「学びの環境」を整備するとともに、教師による効果的な教科指導の在り方を追究し、児童・生徒の学力向上を目指しています。  
● 図教育指導課 ☎70・5660

## 家庭 規則正しく

市内の小・中学校では、家庭の協力を得て①朝起きる時刻②朝食を取る時刻③家庭学習を始める時刻④寝る時刻を守る「四点固定」に取り組んでいます。学ぶ力の基礎を育てるためには、規則正しい生活と家庭学習の習慣化が大切です。予習や復習などの家庭学習は、基礎学力の定着に深く関わっており、保護者が子どもの学習に関心を持つことが大切です。

## 学校 子ども教員も 学び合う

小・中学校が連携しながら思考力・判断力・表現力を段階的に育てるために、学年に応じた目指す姿を具体的に定め、指導がしやすくなりました。子どもたちが自分の考えを話したり、友だちの意見を聞いたり、議論したりすることなどをおとして、社会に出たときに意思の疎通が円滑にできるようになることを目指しています。

城山中学校、綾西・早園小学校の3校では実践研究推進校として、授業改善を進めています。具体的には、児童・生徒の「思考力・判断力・表現力」を育てるために「学び合う授業」を展開しています。児童・生徒は、学習課題に対し自分で考え、友達と話し合う中で、考えを深めたり、理由や根拠を明確にして記述・発表したりしています。市内の小・中学校教員に授業を公開し、合同で研究してきました。互いに授業参観して話し合う中で、授業の進め方を共有する小・中学校連携を進めています。

校と家庭が連携し、児童・生徒の学力向上のため取り組んでいきますので、地域の皆さんもあいさつや声掛けをおして、子どもたちの成長を温かく見守ってください。

## 4月「家庭学習の手引き」 配布します

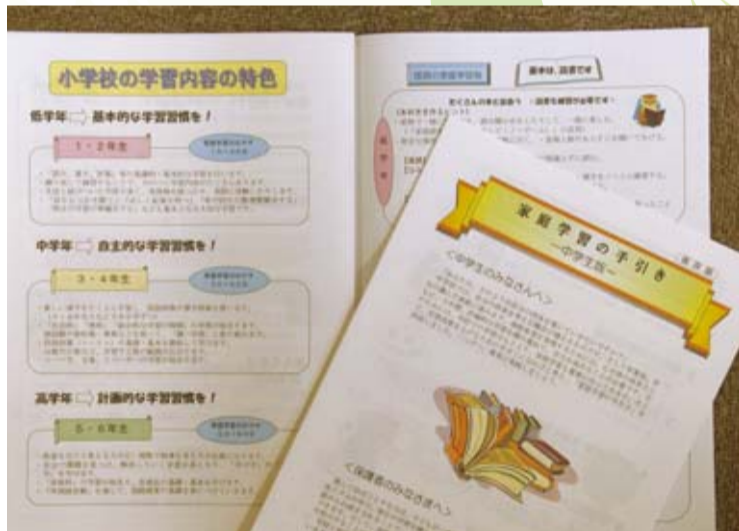
4月に「家庭学習の手引き(小学生版・中学生版)」を市内全小・中学生に配布します。家庭で勉強する際の進め方や要点をまとめています。家庭学習の習慣を身につけるために活用してください。

## 生活習慣の定着を支援 あやせゼロの日運動

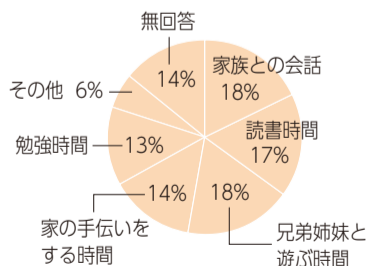
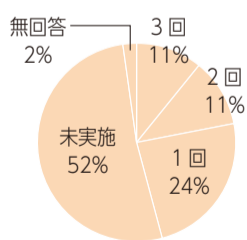
昨年5月から「テレビを消して家族団らん家庭読書」を合言葉に、毎月ゼロ

の日(10日・20日・30日)に「あやせ家庭読書の日、ノーテレビ・ノーゲームデー運動」(通称「あやせゼロの日運動」)を推進しています。中学生以下を対象に、読書ノートやブックリストを配布しました。家庭でのテレビやゲームを一休みして家庭読書を進め、家族の会話やふれあう時間を充実させることで、子どもたちの豊かな心と成長に望ましい生活習慣の定着を目指しています。

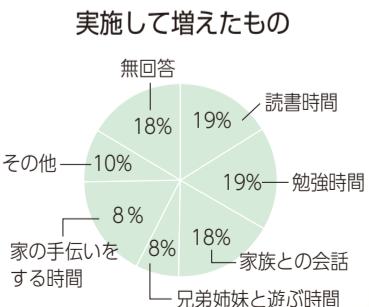
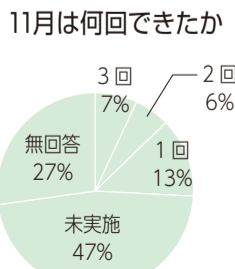
運動日は、家族でおしゃべりや遊びなどで楽しく過ごし、家族の絆を深めましょう。読んだ本の感想を話し合ったり、好きな本を薦め合ったりすると、さらに絆が深まるかもしれません。各家庭に合った方法で運動を実践し、子どもの豊かな心を育てましょう。  
● 図生涯学習課 ☎70・5658



### 小学生



### 中学生



集計結果の感想「実施して増えたもの」(複数回答)に小・中学生とも「家族との会話」「読書時間」「勉強時間」という回答がそれぞれ約20%ありました。この運動を実践することにより、子どもたちの「生きる力」の基礎が培われるということが分かります。

今後、さらに充実発展させ、たくさん子どもたちが、健やかに成長するための礎が築けますよう、積極的な取り組みと市民の皆様のご協力をお願いいたします。

市家庭教育アドバイザー  
増田 岩男